

です。

《忍法・桃源郷》が普通の《胡蝶の夢》と異なる点は、夢の中で対象に起きたことは、現実の対象にも起きるということです。例えば夢の中で受けた傷は現実でもダメージを与え、夢の中で死ねば現実でも死んでしまいます。

夢の中については傀儡の《胡蝶の夢》と同様に処理してください。[難易度]8の〈意志力〉判定に成功すれば、夢に引き込まれずにすみます。

なお、《夢幻の術》は傀儡でないと使用できません。

## ■示陰流

蔭流のシノビであったと言われる御陰寂斎を開祖とする流派です。忍術流派の中でも完全に隠密として特化された流派なのです。

なお、「示陰」は元々は「四隠」と書かれ、開祖寂斎の「身を隠し、心を隠し、技を隠し、己を隠す」という訓えが元になっていると言われています。

それ故に、この流派においては上位の忍ほどその技を見せる事を控える傾向にあり、開祖寂斎に至っては、彼が術を使う処を見た者が居ないとさえ伝えられています。

流派名	流派・傀儡
初級	《隠行の術》 《鳥追いの行》 《雲雀騙しの行》
中級	《四囲隠行の術》 《変わり身の術》 《心眼の術》
上級	《影纏いの術》 《煙霧の術》 《千里眼の術》
特級	忍法・影鰐

## ●影纏の術

影／消費霊力7／難易度4

自らの身を影と化し、他の影の中に潜む術です。この術で隠れている間は霊導や式の感知能力に反応するこ

とはありません。

術の使用中は、基本的に移動する以外の行動は行なえません。また移動範囲も影がある場所に限定されます。何らかのアクションを行なった時点で術の効果は失われてしまいます。

この術を使用した状態で攻撃を行なった場合、その攻撃は不意打ちとして扱われます。

## ●忍法・影鰐

影／消費霊力12／難易度6

敵を影の中に引き込み、その中に潜む鰐に襲わせる術です。命中判定は【感覚】〈忍術〉で行ないますが、目標は何かの影に触れていなければなりません。影鰐による攻撃は視界内に攻撃可能な射撃武器として扱われ、+20の武器修正を持っています。さらに、この術による攻撃は[不意打ち]として扱われます。

なお、持続時間に関わらず、影鰐で一度攻撃すると術は効果を失います。

# カラクリ

## ■単鬼眼

装着部位：両目および周辺部

能力コスト：3

戦鬼眼に改良を加えたゴーグル状の単眼です。

視覚に関する〈観察〉の判定にサイコロ+8個することができ、戦鬼眼に付随する特殊装備を3個まで装備することができます。

## ■紫電眼

装着部位：両目および周辺部

能力コスト：2 \*要心珠

紗を変質させ、雷光と化して放出する〈射撃戦闘〉用武器。弾丸が実体のない電撃であるため、防御行動は〈回避〉でしか行なえません。

従来から存在した紫電筒を小型化し、眼部に装備できるようにしたもの。

武器修正 射率 射程 装填数  
+5 1 100m 無限

## ■泡羊脳

装着部位：頭部

能力コスト：2

正確には頭部に装着するものではなく、装着者の頭部に存在する脳髓そのものに装着するカラクリです。

脳を特殊な薬液に漬けることで、装着者の[霊力]を15点上昇させます。

## ■連呪声

装着部位：頸部

能力コスト：1

顔の下半分を覆う面についたふたつの輪胴を高速回転させることで、紗の集積率を向上させます。この輪胴には人の顔を模した印が押されており、回転させることで泣き声に似た音を発します。

〈陰陽術〉、〈法術〉、〈忍術〉判定のサイコロに+2します。

## ■双龍腕

装着部位：両腕

能力コスト：4

最新式の龍式弾倉を使用した薬式重連銃と、同じく龍式弾倉の珠供給装置を持った龍連刀を仕込んでいます。腕全体を交換するカラクリではあ

りませんが、龍連刀の弾倉を設置するために鋼機胴丸の特殊装備数ひとつ分を必要とします。

	武器修正	射率	射程	装填数
龍連刀	+3	8	—	50×2
龍式重連銃	+3	8	20m	40×8

## ■爆砕装甲・玻璃

装着部位：全身の皮膚

能力コスト：本文参照

全身の皮膚に火薬を仕込んだ装甲を埋め込みます。使用者が打撃を受けた際に、装甲内の火薬が爆発することで、打撃の衝撃を相殺します。

ダメージが確定した時点で作動させると、特定の負傷ゲージがすべて埋まりますが、受けたダメージを軽減することができます。また、このカラクリは使い捨てで、一幕に1回しか作動させることはできません。

	ダメージ軽減値	負傷度	能力コスト
甲種	30	軽傷	4
丙種	20	重傷	2
乙種	10	致命傷	1